

質問 渡辺議員（県民 岐阜市）令和8年7月1日（水）

5 働いてもらい方改革の進捗と今後の取組について

答弁 知事

働いてもらい方改革の推進に当たりましては、「企業の意識改革」と「導入に向けた環境整備への支援」、この二つが重要であるという考え方に基づき、これまで取組を進めてまいりました。

まず「企業の意識改革」を促すため、県内の実践企業の掘り起こしを進めてまいりました。先月10日には、女性目線での職場改革によって企業の成長につなげた事例などを第五弾として発表し、これまで計50社の取組事例を取りまとめました。同時に、これらの取組事例から見えてきた共通要素を「働いてもらい方改革」のポイント集として整理いたしました。

実践企業に共通して見られますポイントとしましては、経営者と従業員がビジョンを共有し、共にそれを目指すための意識改革を行った上で、「働きやすさの追求」と「生産性向上の取組」を自社の課題に応じて組み合わせているという点が挙げられます。

さらに、ポイント集では、労働力の観点から、「採用できない」、「現場が回らない」、「定着しない」といった課題別に事例を交えて取組を紹介しており、「ポイントが分かりやすく整理された」とか「今後の経営の参考になった」といった声もいただいているところでございます。

次に「導入に向けた環境整備への支援」でございますが、今年度、補助金総額を10億円に倍増しました「中小・小規模事業者向け補助金」や、今年度新設いたしました「設備投資補助金」につきまして、いずれも申請額が予算額の約2倍となるなど、取組に対する関心の高さを実感しているところでございます。

一方で、「働いてもらい方改革の内容をよく知らない」とか「知ってはいるけど自社の取組に具体化できていない」といった企業の声もあり、普及に向けた更なる取組の強化が必要と認識しているところでございます。

このため、今後更に次の二つの観点を重視して、取組を強化してまいります。

一つ目は、「認知の拡大と理解の深化」、深めるということでございます。

経営者や人事労務担当者を対象とした出前講座について、ポイント集も活用しながら、より効果的に実施するとともに、新たに実践企業の声などもまとめました動画、これを作成いたしまして、県ホームページやSNSを通じて発信してまいります。

二つ目は、「導入、実践に向けた支援の強化」でございます。

本年9月には、実践企業の代表者を講師としてお招きし、実践手法や導入に当たっ

ての課題・苦労等について講演いただく異業種・企業交流会を岐阜市と高山市の二会場で開催いたします。併せて、生産性向上の具体的なノウハウを学んでいただく場として、業務細分化・最適化の導入方法を学ぶシンポジウムを8月に、ワークショップを9月と10月に、さらには、導入への伴走サポートを11月から来年2月にかけて実施し、企業における実践に向けた支援を強化してまいります。

また、様々な機会を通じて、若者や女性など多様な境遇にある方々の声を把握することに加え、今年秋頃を目途に、県産業経済振興センターと連携いたしまして、県内企業1,000社を対象に、「働いてもらい方改革」の取組状況等に関する調査を実施することとしております。

今後も企業等の関係者のご意見をしっかりと伺い、その実情や課題を踏まえた上で、「働いてもらい方改革」の推進に必要な方策を講じてまいります。

担 当 課	未来創成課、商工労働政策課
電話番号	(未) 058-272-8141 (商) 058-272-8350
メー ル	(未) c11179@pref.gifu.lg.jp (商) c11351@pref.gifu.lg.jp